

## 新型コロナウイルス感染症対策について

2020年6月20日

### 1. 感染予防に向けた当店の取り組み

#### ① スタッフからの感染を防止するために

- ・ スタッフは毎日の検温を含む自身の体調管理を徹底しています。また、可能な限りマスクを着けて対応し、手洗いも定期的に行っています。
- ・ スタッフの家族等、同居者に感染者や感染者への接触があることが判明した場合は、当店のプログラム開催は自粛させていただきます。

#### ② 除菌対策

- ・ 店舗内のテーブル・椅子は一日数回消毒液で除菌しています。また、床・トイレ・ドアノブ(手すり)等もこまめに清掃・除菌しています。
- ・ レンタルで使用する器材等は使用する前に除菌をしています(特にマスク・スノーケル・レギュレーターなど顔に触れる部分は念入りに使用前・使用後の消毒を行っています)。
- ・ 送迎や移動で使用する車両は、毎回使用後に清掃・除菌をしています。

#### ③ 換気対策

- ・ 店舗内の換気を行うため可能な限り複数の窓を開けています。
- ・ 車両での移動中はエアコン使用時も定期的に窓を開けて頻繁に換気しています。

### 2. 皆様に安心してご利用いただくためのお願い

#### 【ご利用前】

感染リスクを最大限抑え、安全で楽しくダイビング・スノーケリングをお楽しみいただくために以下について、ご理解とご協力をお願いいたします。

#### ① 体調についての申告

- ・ 体調が悪い状態でのプログラムへの参加はご遠慮ください。
- ・ 体温など毎朝チェックしていただき、不調がある場合は集合時間までにご連絡ください。
- ・ 来店当日に体調がすぐれないお客様はご遠慮なくスタッフまでお申し出ください。
- ・ プログラム催行の際に、本日の体調チェックと直近の海外渡航歴の有無や新型コロナウイルスの感染の恐れのある場所への出入りがあるかどうかお聞きする場合があります。

#### ② 次の項目に当てはまるお客様はご来店をお控えください。

- ・ 風邪の症状(くしゃみや咳が出る)がある方
- ・ 37.5 度以上の熱がある方
- ・ 強いだるさ(倦怠感)や息苦しさがある方
- ・ 咳、痰、または胸部に不快感のある方
- ・ 過去 14 日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要と発表されている国・地域等への渡航者の方、並びに渡航者との濃厚接触がある方
- ・ 過去 14 日以内に、新型コロナ ウイルス 感染者が発生した観光クルーズ船から下船、あるいはその他のクラスターが発生したとされる場所を訪れた方

- ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる方
- ・ その他新型コロナウイルス感染の可能性のある症状(嗅覚・味覚に異常を感じる等)がある方

## 【ご利用中】

### ① 飛沫感染・接触感染を避けるために

- ・ 可能な限りマスクの着用をお願いします。
- ・ 手洗いなどこまめに実施してください。
- ・ 店舗内備え付けの消毒液はご遠慮なくご利用ください。また、可能な限りご自身でもご用意ください。
- ・ 共有物にふれる機会をできるだけ減らす努力をお願いします(筆記具やティッシュなど、できるだけご持参ください)。
- ・ 他人の器材、荷物には触れないようにしてください(マスク・スノーケル・レギュレーター・タオルなど顔に触れるもの)。
- ・ レンタルで使用する各種器材等は、ご自身で利用するもの以外には触れないでください。
- ・ 咳やくしゃみをされる際には、咳エチケットをお守りください。
- ・ ダイビング・シュノーケリングで使用するマスクの曇り止めは唾などではなく市販の曇り止め等をご使用ください。
- ・ 着用したマスク、レギュレーターなどの器材は、自身のメッシュバッグなどに入れてください。また、本人以外が触れた場合は使用する前に消毒してください。消毒液はスタッフが持参しておりますのでお申し出ください。

### ② 体調について

- ・ プログラム催行中に体調が悪くなったり、気分が悪くなった場合には、ご遠慮なくスタッフまでお申し出ください。

### ③ お持ちいただくものについて

- ・ 海浴いは風が強い時もあり、寒暖差があります。体温調整ができるよう上着等をご準備ください。
- ・ 基本的に、飲み物についてはご自身でご用意ください。他のお客様の飲み物を入れるなども、お控えください。
- ・ バスタオルなどはご自身でご用意ください。

### ④ 施設の使用時について

- ・ トイレで水を流す際は、飛散防止の為蓋を閉めてから流してください。
- ・ ブリーフィング等は密室を避けできるだけ屋外で行います。
- ・ ログ付けなどは最小限の時間でできるだけ屋外で行います。

### ⑤ 移動手段とご旅行中について

- ・ 車両での移動に関して、少しでも感染リスクを減らしたいお客様は、マイカーまたはレンタカーのご利用をお勧めいたします。現地集合でのご予約も可能です。
- ・ 宿泊施設及び、ご旅行(滞在)中の食事などの際、多くの人の集まる場所へはできるだけ行かないようにし、でかける際は感染防止用のマスクなどの着用及び、ソーシャルディスタンスの確保、手指消毒などを怠らない様お気を付けください。

## 【ご利用後】

- ・ 当店ご利用後、2週間以内に新型コロナウイルスに感染していることが判明した場合は速やかに当店までお知らせください。



## ダイバーにできる 8つの新型コロナウイルス感染対策

新型コロナウイルス感染症は、感染者から飛散した粒子を吸い込むことによって感染します（飛沫感染）。また、感染者が触れたり、咳やくしゃみのかかった物体表面に触れた手で、目や鼻、口に触れることでも感染することが確認されています（接触感染）。この二つの感染経路を理解していれば、感染のリスクを容易に抑えることができます。シンプルに対応方法を整理して、感染を防ぎましょう。

1. 何らかの症状がある場合や、感染者に接触した可能性がある場合は、**ダイビングをしてはいけません。健康になるまで自主的に隔離し、適切な医療アドバイスに従ってください。**
2. **適切なスペースを保ちましょう。**水面や陸上では、少なくとも地域で推奨されている距離を保って行動することを心がけます。
3. **手洗いと消毒をしましょう。**自身の器材を含めて、器材を触る前後には必ず手を洗い、消毒します。これは水中で器材に触れた場合も同様です。他のダイバーの器材にはできるだけ触れないようにしてください。水中で新型コロナウイルスの感染力が弱まるかどうかについては判明していないので、「きっと感染力が弱まるだろう」という勝手な判断は避けるべきです。  
注意：推奨される手指用の消毒液の多くは60%以上のアルコールが含まれており、可燃性です。酸素や火元の近くで消毒をするのは危険です。また、酸素や火を扱う前に手が完全に乾いているかを確認してください。
4. **会話をするときは医療用マスクをしましょう。エチケットです。**医療用マスクは思いやりの証です。陸上でのコミュニケーションには医療用マスクを使用してください。
5. **水面ではマスクとレギュレーターを使いましょう。**水面でスクーバ用マスクを着用することは目と鼻からの飛沫感染を防ぎます。また、レギュレーターから呼吸することで飛沫を吸い込むこともないので、感染リスクが減少します。
6. **清潔なダイバーになりましょう。**くもり止めには市販品を使い、マスク、スノーケル、レギュレーターやBCDは保管する前・使用する前に必ず消毒します。ダイビングの後に鼻をかんだり、うがいをする場合は適切な場所で行ない、他のダイバーがいる場所は避けます。使ったティッシュなどは適切に廃棄しましょう。また、手すりやドアノブなどの多数の人が触れる部分に触れた後は必ず手を洗って消毒してください。
7. **水面で他のダイバーの呼吸を吸ったり吸わせたり、空気を「シェア」しないように気をつけましょう。**水面の状況や風向きによっては、自分が吐いた息が他のダイバーにかかってしまうことがあります。特にスノーケルをクリアするときや、フリーダイビングの後に呼吸するときなど、息がかかってしまわないように、他のダイバーとお互いに気をつけましょう。レギュレーターを使っているダイバーは安全ですが、他のダイバーには吐いた息がかかる可能性があるので注意が必要です。
8. **水中では、エアをシェアしないといけない重要な場面があるかもしれません。**ですから、バックアップ空気源は一度消毒した後の動作確認はパーシボタンで行ないましょう。バックアップ空気源を使用した場合は、必ず消毒してください。



# PADI®

Seek Adventure. Save the Ocean.™